

温暖化と公共交通

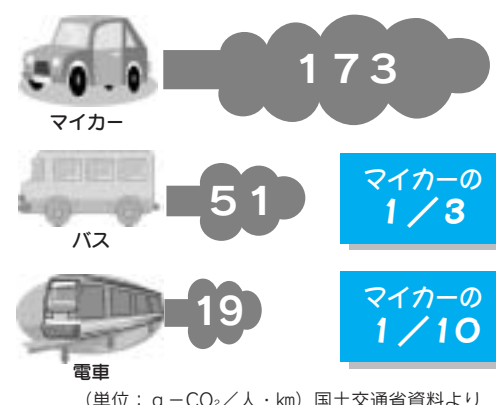


～マイカーを
控えて守る
地球と田舎～



図1

1人を1km運ぶのに排出される
CO₂量の比較(2005年度)



①地球にやさしい
一度にたくさんの人を運べる公共交通は、一人あたりCO₂排出量がマイカーと比べて極めて少なく、地球環境にやさしい交通手段です。(図1参照)

②ひとにやさしい
子どもやお年寄りなど、公共交通以外に移動手段を持たない人の生活の足として、欠くことのできない大切な交通手段です。また、歩くことが増える公共交通は、ドアtoドアのマイカー利用時に比べ、消費カロリーが適度に増加し、健康維持につながります。(図2参照)

図2



③財布にやさしい
最近のガソリン価格高騰により、マイカー利用は家計の大きな負担となつていますが、電車やバスをうまく利用すれば、財布にもやさしくなります。

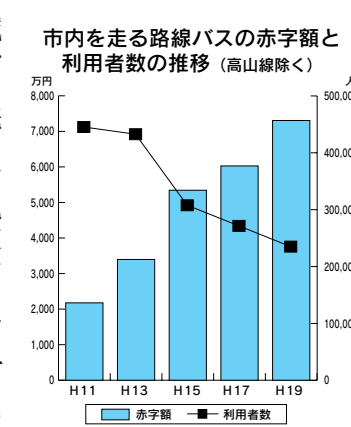


④まちにやさしい
一人ひとりが公共交通を利用することで、慢性的な交通渋滞を緩和することができ、良好な生活環境を保つことができます。また、交通事故の発生も大幅に減少します。



でもすべてのバス路線は赤字です
市内を走る環境にやさしい公共交通は、鉄道(JR北陸本線)と路線バス(6路線)とデマンドタクシー(3区域)があります。しかし、バスの利用者は年々減少を続けています。今後、ますます高齢化が進み、公共交通以外に移動手段がないお年寄りの増加が予想されますが、その時まで路線バスを守っていけるかどうか、それは皆さん一人ひとりの行動が鍵となります。

**公共交通を守るため
まずは身近なところから**
クルマ社会に起因する社会問題(環境・渋滞・事故など)は、一人ひとりが問題意識を持つて行動を変えなければ解決することはできません。今すぐできることは、身近なところから行動を変えること。それこそが、将来も安全・安心・快適に公共交通を利用することができるときの第一歩です。



合併特集 1市6町合併に向けて

前回は、6月に市内9か所で実施した「市長と語る市民懇談会パートII」の概要についてお知らせしました。今回は、その中で市民のみなさんからいただいた主な意見とそれに対する市の回答についてお知らせします。

1市2町の検証 ご意見 確実に

懇談会でのご意見については、前回、少し紹介しましたが、今回は市民のみなさんの考えや市の考えをもっと知っていただくために、もう少し詳しく紹介します。

ご意見

- ・1市2町合併前に確認された旧びわ町の事業はできているのか。
- ・1市2町合併で具体的に旧浅井町で良くなった点はあるのか。
- ・現在の長浜市も決して財政的に楽ではないはずで、もっと行革するべきではないか。

回答

びわ幼稚園建設や国保料の経過措置など、合併時の約束を踏まえて取り組んでおり、行政制度の一元化もほぼ完了するなど順調に進んでいます。一方、財政状況が厳しいので、行政改革にもしっかりと取り組んでいかなければならないと考えています。

道州制 ご意見 さらに大

ご意見

- ・道州制について知事の意見は否定的であったがどうか。
- ・県が無くなって、市として県事業を積極的に委譲してもらいたいのか。
- ・道州制を考えたときに、やはり米原が含まれるべきではないか。
- ・敦賀や大垣との合併は考えないのか。

回答

道州制をゴールとする地方分権の流れを考えると、できるだけ早い時期に米原も含め、「湖北は一つ」にならないかと考えています。市民のみなさんにもそうした意見が多いと思います。1市6町はその第一歩だとご理解ください。

合併の進め方 ご意見 十分な議論

ご意見

- ・合併ありきで進めすぎているのではないか。
- ・合併を反対しているわけではないが、時期が早いのではないか。
- ・編入合併であれば、もっと事務的に簡易に進めていくのではないか。
- ・住民投票は必要があると思うがどうか。

回答

合併のメリットを生かし、国県の財政支援を得るには、合併新法の期限内に合併をする必要があります。今のスケジュールになっています。しかし、編入でも手続きをしっかりと踏んでいく必要があると考えています。また、住民投票については、まずは議会でも十分議論をいただくことが大切だと考えています。

合併後の 行財政運営 堅実に

ご意見

- ・職員数の削減は本当にできるのか。
- ・わずか50%人口が増えるだけで財政規模が138億も減る。これで十分な住民サービスができるのか。
- ・効率化の話は分かるが、本当に十分な住民サービスができるのか。
- ・各地域に立派な公民館があるが住民のための施設を減らしていつて行政本来の役割は担えるのか。住民のための合併ではないような気がする。
- ・最先端を走る都市よりも安心安全のまちづくりではないか。

回答

類似団体では現在行っていることなので、縮減することは可能だと考えています。また、今後は市民のみなさんとの協働がより必要となってくるので、現在進めている公民館単位での地域づくり協議会の設立を積極的に支援していきたいと考えています。

お問合せは、合併推進室(☎65335)へ。